

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目次 >

- 1 【教育振興】「親業（子育て）」という生涯学習
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教育振興】「親業（子育て）」という生涯学習

赤ちゃんは、生まれたとき3つの感情しか持っていないそうです。安心してスヤスヤと寝ているときの「安らぐ」という感情。お腹がすいた、おしめが濡れているなどの要求を訴えるときの「泣く」という感情。そして、赤ちゃんが目が合うとニコッと笑顔をみせる「笑う」という感情です。

もともと人は「怒る」という感情を持っておらず、育っていく過程の中で親の姿勢や社会から後天的に刷り込まれたものなのではないでしょうか。親に手をあげる子どもは、しつけと称して親に叩かれて育ってきた子どもが多いといえます。「自分の思いを達成するためには、暴力を使うことも構わない」と親の姿勢から学び、親から学んだとおりに親に手をあげるようになるのです。

子どもに対して怒ったり、イライラしたりする親の姿を見て、子どもは「怒る」という感情を刷り込まれ、その真似をして育っていくのでしょ。おだやかな子どもに育てるためには、子どもの心に波風が「起こる＝怒る」ことのないよう、「感情的に怒る」という方法論をとらないことが大切です。

親子関係は、「砥石」のようなものです。子どもの言動を砥石にし、「どんな時でも、怒ったり、怒鳴ったりせず、子どもにきちんとわかるように話す」ように心掛けることで、自分自身が磨かれていき、そういう親の姿勢を真似て育つ子どもも磨かれていくのではないのでしょうか。

相田みつをさんは、「育てたように子は育つ」という言葉を残しています。結果（育った子どもの言動）と原因（育てた大人の言動）の因果関係を言い当てていて、ドキッとしますが、いつも心に留めていたい言葉です。

世の中は、「自分が投げかけたことが、返ってくるだけのこと。愛するから、愛されます。嫌えば、嫌われます。」また、たとえ子どもであっても、他の人

を変えることは難しいものですが、自分自身を変えることは自分の意思でできます。

怒ったりして、無理に子どもを変えようと思う前に、自分自身の子どもへの接し方を変えていきませんか。子どもから学び、自分自身を磨いていく「親業（子育て）」という生涯学習を楽しみましょう。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）パンパカパカパ〜ン！

（振ちゃん）パンパカパンツ？

（教ちゃん）もう、違うわよ。皆さん、聞いて下さ〜い。

（振ちゃん）・・・。

（教ちゃん）先日、盛岡市立上田小学校PTA広報部のお母さんから、お電話をいただきました。PTAの広報誌に、私たちのイラストを載せてくれるんですって・・・。

（振ちゃん）ということは、盛岡の街を歩いていたらサインを迫られるということ？サングラスを買ってこなくっちゃ！

（教ちゃん）教育振興運動が始まった当時、けん引役として期待されたのがPTAだったの。だから、私たちのイラストは、どんどんPTAの活動や広報でも使ってほしいわ。

（振ちゃん）全県の小学校と中学校で使ってもらったら、岩手県の“ゆるキャラ”として有名になるかも。ムフフ・・・。

（教ちゃん）そうね。私たちのイラストは、教育振興運動だけでなく、子ども会などの地域活動や教育活動でも使えるので、使いたい方は県教育委員会事務局（019- 629- 6174・21kyoushin@gmail.com）まで連絡をお願いします。イラストのデータCDをお届けします。

（振ちゃん）「振ちゃん饅頭」でしょ。「振ちゃんせんべい」でしょ。それから県のイベントに出演して、教ちゃんと一緒にデュエットでCDデビュー・・・。

（教ちゃん）何、言ってんのよ。もう・・・。

3 【編集後記】あつしのひとりごと

文化庁が実施した「2010年国語に関する世論調査」の結果が、9月16日の新聞に掲載されていました。国語力・読解力が、学力向上のカギ・・・とこのメルマガでも書いてきたところですが、私自身も日常的に使っていたり、意味を間違って使っていたりと反省させられます・・・。以下、一部を紹介します。

○使う人が多い「ら抜き言葉」

- ・「来れますか」を使う人・・・43.2%（16～19歳では73.8%！）
- ・「出れる」を使う人・・・44.0%（16～19歳では72.5%！）

○形容詞の語幹を使った言い方

- ・気温の寒い外にでたとき、「寒っ！」と言う人・・・85.0%
- ・びっくりしたとき、「すごっ！」と言う人・・・76.7%

○言葉の意味や慣用句の使い方

- ・「情けは人のためならず」の意味
 - ⇒45.8%の人が「結局は自分のためになる」と回答【正答】
 - 45.7%の人が「その人のためにならない」と回答
- ・「姑息」の意味
 - ⇒15.0%の人が「一時しのぎ」と回答【正答】
 - 70.9%の人が「ひきょうな」と回答
- ・「することがなくなって時間を持て余す」こと
 - ⇒61.3%の人が「間が持たない」と回答
 - 29.3%の人が「間が持てない」と回答【正答】
- ・「僅かな時間も無駄にしない様子」
 - ⇒57.2%の人が「寸暇を惜しまず」と回答
 - 28.1%の人が「寸暇を惜しんで」と回答【正答】

世論調査では、正しい言葉使いの普及で期待するのは、「家庭や社会で正しい言葉使いが行われるようにする」が38.8%と「学校での国語教育の充実（36.8%）」を上回っています。家庭や地域の重要性を、改めて感じますね。

世論調査の結果

⇒ http://www.bunka.go.jp/ima/press_release/pdf/h22_yoronchosa.pdf

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第54号は、10月11日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～52号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～